

## カナダ Elk Valley Resources Ltd. の株式等取得について

～製鉄プロセスの脱炭素化に必要な高品質製鉄用原料炭の将来に亘る安定調達と原料権益投資を通じた外部環境に左右されにくい連結収益構造への転換を推進～

日本製鉄株式会社（以下、日本製鉄）は、世界第二位の高品質製鉄用原料炭サプライヤーであるカナダ Teck Resources Limited（テックリソーシズ、以下、Teck 社）が自社の製鉄用原料炭事業をスピンオフし、Elk Valley Resources Ltd.（エルクバレーリソーシズ、以下、EVR 社）として分離・上場することにあわせ、EVR 社の普通株式等の一部を取得する出資契約を Teck 社と締結しました。また、EVR 社が生産する製鉄用原料炭を長期に亘って引取るオフテイク権利契約を EVR 社と締結することで Teck 社と合意しましたので、お知らせします。

### 1. 本株式等取得の背景と目的

#### (1) 経営戦略上不可欠な製鉄用原料炭権益確保

日本製鉄は、カーボンニュートラルの実現に向け、「高炉水素還元」「大型電炉での高級鋼製造」「水素による還元鉄製造」の3つの超革新技术の複線の開発によるカーボンニュートラルの実現を目指しています。こうした中、2008年から既存の高炉を活用して水素を吹き込むことにより鉄鉱石を還元させ、二酸化炭素の排出を削減する技術開発に取り組んでいます。高炉水素還元プロセスにおいて二酸化炭素排出削減と鉄生産の安定性・効率性を両立させるためには、投入するコークスの品質と強度を高めることで、①コークス使用量を低減し二酸化炭素排出量を削減する、②高炉内の水素等還元ガスの通気性を確保する、③鉄鉱石を溶解させて高炉から取り出すための熱源を確保する、ことが有効であることから、高品質・高強度コークスの原料となる高品質製鉄用原料炭の安定的確保は、高炉水素還元プロセスを推進する上で必要不可欠です。

他方で、脱炭素の流れの中で製鉄用原料炭への開発投資が今後増加していくことは見込めず、世界の製鉄用原料炭供給能力は徐々に減少する懸念が高まっています。そのため、今後、カーボンニュートラルを推進する上で不可欠な高品質製鉄用原料炭を確保するためには、日本製鉄自らが原料権益への投資を拡大することにより、その安定調達を図る必要があると判断しました。

#### (2) 優良原料権益確保による連結収益の安定化

日本製鉄は「中長期経営計画」において、本体国内製鉄事業、本体海外事業、原料権益、鉄グループ会社、非鉄3社の5つの事業領域による利益成長を通じて名実ともに総合力世界 No. 1 の鉄鋼メーカーとなることを目指しています。しかしながら、資源開発投資の構造的な減少等により鋼材市況変動とは無関係に原燃料価格が高止まりするリスクが現実のものとなりつつある状況は、連結収益安定化にとっての大きな課題です。

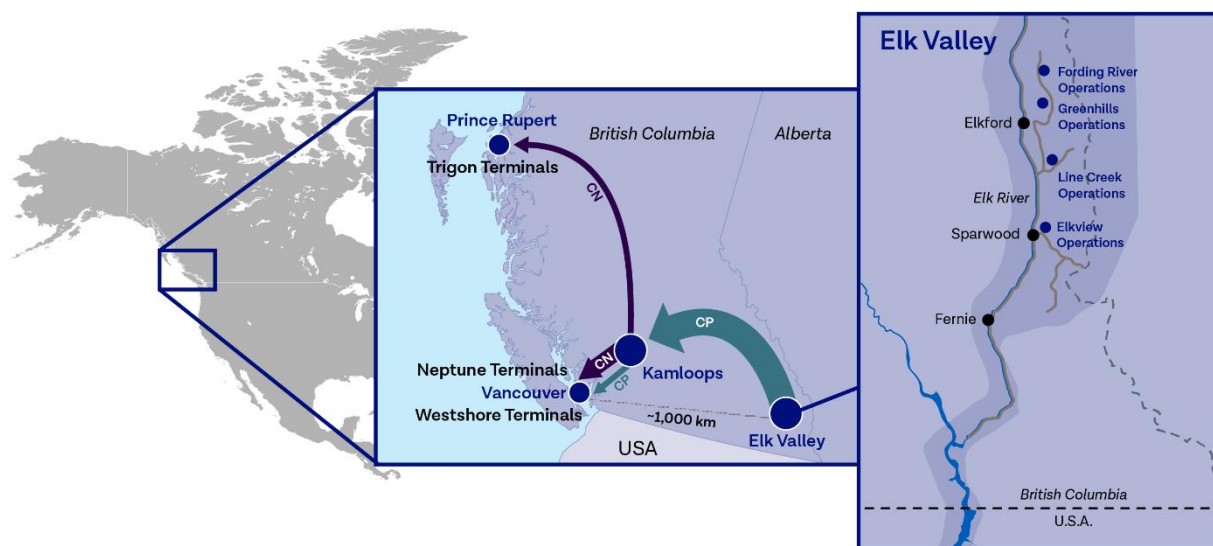
日本製鉄は、今回の株式等取得により、必要とする鉄鋼原料の安定調達に加え、上場後の EVR 社普通株式の追加取得等により、将来的には EVR 社を持分法適用会社とすることが可能となります。これにより、外部環境に左右されにくい厚みをもった連結収益構造に転換していくとともに、原料権益の収益拡大を通じて、連結収益水準の向上にも寄与することが期待できます。

日本製鉄は、カーボンニュートラルの実現に向けた超革新技術の他国に先駆けた開発・実機化に果敢に挑戦していきますが、そのために必要な巨額の研究開発投資および実機化設備投資の原資確保に向けて、引き続き原料～製造～流通一貫での厚みをもった事業構造の構築と、各事業領域の収益基盤の強化を通じた連結収益水準の向上に取り組んでいきます。

## 2. Elk Valley Resources Ltd. の概要 (予定)

名称	Elk Valley Resources Ltd.
本社所在地	カナダ ブリティッシュコロンビア州 バンクーバー
事業内容	製鉄用原料炭の採掘・販売
保有する主な炭鉱	Fording River, Elkview, Greenhills, Line Creek (年間生産能力：合計約 2500～2700 万 t)

(参考：EVR 社保有主要製鉄用原料炭鉱地図)



## 3. 今回取得する株式等・出資スキームおよび高品質製鉄用原料炭オフテイク権の概要について

日本製鉄は、100%子会社の NS Canadian Resources Inc. (以下、NSCR) を通じて EVR 社の普通株式等の一部を取得する出資契約を締結しました。また、EVR 社の取締役候補者を 1 名指名する権利等を定めた株主権利契約を EVR 社と締結するとともに、製鉄用原料炭のなかでも高品質である強粘結炭を EVR 社から長期に亘って安定調達することが可能となるオフテイク権利契約を締結します。

(今回取得する EVR 社の株式等の概要(\*1))

	取得比率
普通株 (*2)	10%
優先株 (*3)	10%
ロイヤルティ (*4)	10%
合計取得金額 (*5)	1,150 百万カナダドル(約 1,100 億円)

(\*1) 本取引は、株式等取得の前提条件が整い次第、完了させる予定 (2023 年 4-6 月期中目途)。

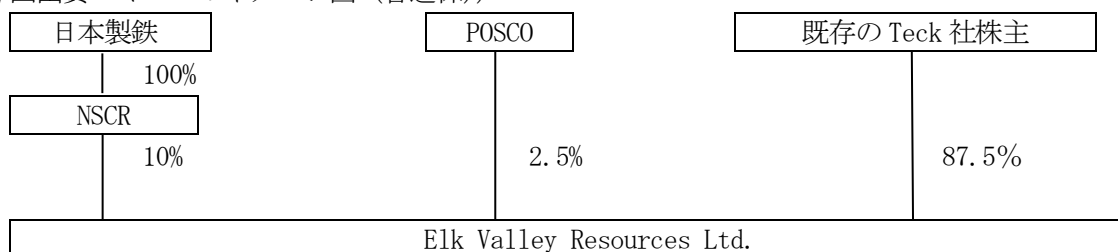
(\*2) 普通株については、EVR 社の上場後、市場を通じて 17.5%まで買い増すことが可能。

(\*3) 一定期間、普通株に優先して配当が支払われる株式。

(\*4) 一定期間、EVR 社のフリーキャッシュフローのうち約 90%がロイヤルティ保有者に分配される。

(\*5) 既存の Elkview 権益および現金 1,025 百万カナダドルを本取引に充当する

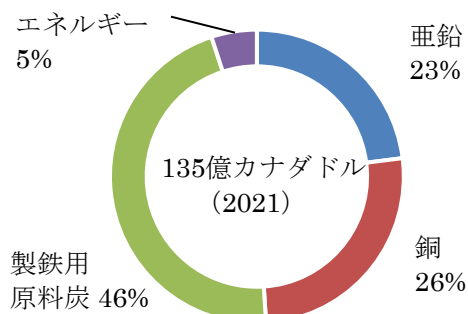
(今回出資スキームのイメージ図 (普通株))



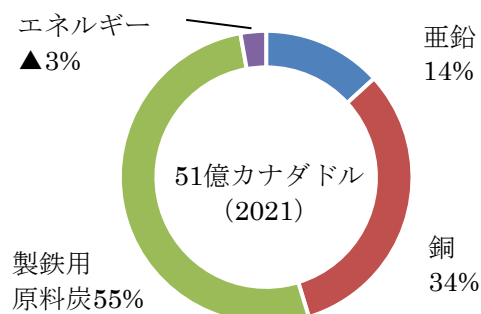
(参考 1) Teck 社の概要 (2022 年 12 月 31 日時点)

名称	Teck Resources Limited
本社所在地	カナダ ブリティッシュコロンビア州 バンクーバー
代表者	Jonathan Price, Chief Executive Officer
事業内容	銅・亜鉛・製鉄用原料炭等の採掘・販売を手掛ける総合資源企業
従業員数	約 10,000 人
沿革	1913 年 前身の Teck-Hughes Gold Ltd. 設立 2009 年 Teck Resources Limited に社名変更

(Teck社売上収益内訳)



(Teck社粗利益内訳)



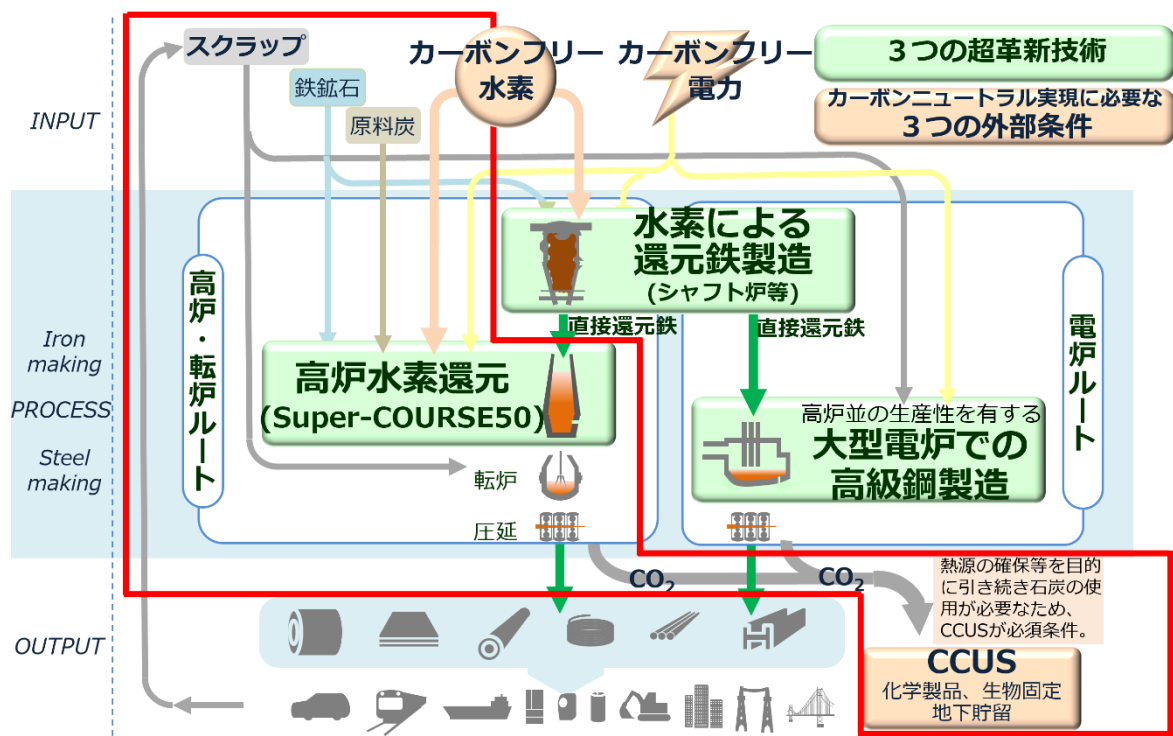
(参考2) Teck 社の組織再編の概要

- Teck 社は、製鉄用原料炭事業のスピンオフにより、これを継承する EVR 社と、非鉄金属事業（銅、亜鉛等）を継承する Teck Metals 社（存続会社）の2つの上場会社に分社する組織再編を実施。
- Teck 社の既存株主に両新会社の普通株式が割り当てられるが、EVR 社については、日本製鉄が10%出資予定。なおEVR 社についてはこれとは別にPOSCOも2.5%出資予定。

なおTeck 社プレスリリースについては、下記のTeck 社ウェブサイトより参照ください。

<https://www.teck.com/>

(参考3) 日本製鉄のカーボンニュートラル生産プロセスにおける製鉄用原料炭の位置付け



\* 「日本製鉄カーボンニュートラルビジョン 2050」 (2021年3月30日公表) より一部抜粋

4. 今後の見通し

上記株式等取得が当期の連結業績に与える影響は軽微です。

(お問い合わせ先) 総務部広報センター 03-6867-2977, 2135, 2146, 3419

以上